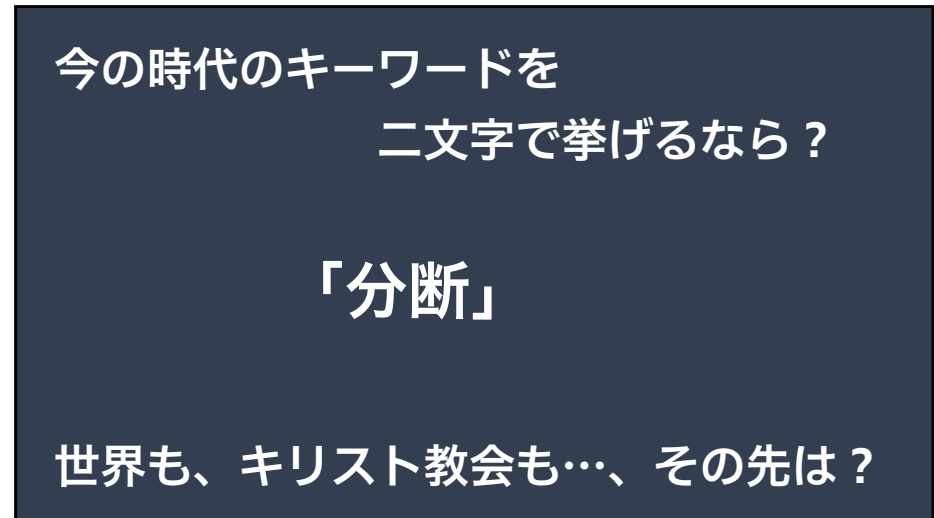




10



11



12



13

- イスラエルは、多くの預言者の警告も拒み、背きを重ねた。
- 北王国は、BC722年、アッシリアによって滅亡。
残る南王国も、バビロニアに滅ぼされ、エルサレムの民の多くは、強制連行された。(バビロン捕囚・BC586)
- エジプトに逃れた民は、厳しい裁きを受けて、滅ぼされた。



14

前説 エレミヤ書の構成 諸国民の裁きの位置づけ

- クライマックス …イスラエルへの裁き・バビロン捕囚
- 後日談・エピローグ …エジプトへの寄留と裁き
- 外伝・スピンオフ …諸国民への裁き(45～51章)
- 結び …命運が分かれた、捕囚後の王たち(52章)

諸国民への裁きは、外伝・スピンオフ

15

前説 諸国民の裁きの基準

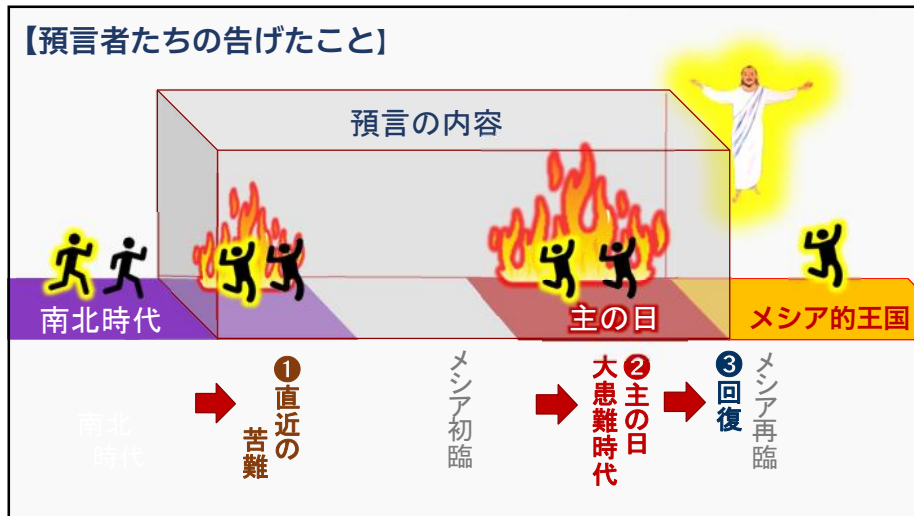
- バビロニアの侵略は、イスラエルの周辺諸国にも及んだ。
→周辺諸国の滅びも、神による裁き
- 裁きの理由は、①イスラエルを苦しめたこと
②彼ら自身の偶像礼拝
…唯一の神を知ったにも関わらず
- 裁きの基準は、①イスラエルをどれだけ苦しめたか
②イスラエルとの関係の近さ

16

【預言者視点で見る預言書は、こんな感じ？ 実際は？】



17



18



19

前説 **①アンモンとは？**

- 口トの子孫。モアブとは兄弟民族。
- ヨルダン川東岸ギレアデ地方。
首都ラバ・現在のアンモン。
- ダビデに征服。イスラエルの属国に。
- モレク神を崇拝。

20

①アンモン **アンモンの支配 49:1**

アンモン人について。【主】はこう言われる。「イスラエルには子がいないのか。世継ぎがないのか。なぜ、ミルコム*がガド*を所有し、その民が町々に住んでいるのか。」

*アンモンの神

*ヨルダン川東岸のガド族の地を支配

アンモンによる侵略・支配は、
イスラエルが主に反抗した罪の結果。

ヨルダン川東岸

21

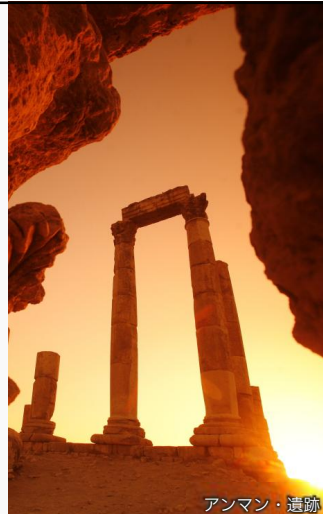
①アンモン アンモンへの侵略 49:2

それゆえ、見よ、その時代が来る。——
【主】のことば——そのとき、わたしはアンモン人のラバ*に戦いの雄たけびを聞かせる。そこは荒れ果てた廃墟となり、その娘たちは火で焼かれる。イスラエルがその跡を継ぐ*。——【主】は言われる——

*アンモンの首都。現アンマン。

*実現は千年王国において

■アンモンも、バビロニアが侵略。



アンマン・遺跡

22

①アンモン 捕囚と略奪 49:3～4

ヘシュボンよ、泣き叫べ。アイが荒らされたから。ラバの娘たちよ、わめけ。粗布をまとえ。嘆いて囲い場の中を走り回れ。ミルコムが*、その祭司や首長たちとともに、捕囚として連れて行かれるからだ。

背信の娘よ、おまえの谷には水が流れている。なぜ、その谷を誇るのか。おまえは自分の財宝に抛り頼んで言う。『だれが私のところに来るだろう』と。

*アンモンの偶像神も民と共に略奪される。



ヤボク川

23

①アンモン 回復の預言 49:5～6

見よ。わたしは四方からおまえに恐怖をもたらす。——万軍の【神】、主のことば——おまえたちはみな散らされて、逃げる者を集める者もない。

その後、わたしはアンモン人を回復させる*。——【主】のことば。」

*兄弟民族モアブ同様に回復の預言が。

アンモンは千年王国で回復!!



ヨルダン川東岸

24

まとめ ①アンモンの滅びとその後

■バビロニアが侵略。全土が破壊。

➡首都ラバの民は捕囚に!!

■モアブへの裁きの理由

①偶像礼拝・ミルコム神への礼拝

②イスラエルのガド族の嗣業の地を奪った

■兄弟民族モアブ同様に、千年王国で回復が預言。

回復

25



26

前説 ②エドムとは？

- イサクの子・エサウの子孫。
- 死海の南部からアカバ湾。
セイル山地・ネゲブ砂漠
王の道・交通の要衝。
- 荒野を旅してきたイスラエルを妨害。
ダビデ、ソロモンの時代は支配されていた。
アッシリアの侵略に乗じて、ユダを略奪。

27

②エドム 主の御告げ 49:7～8

エドムについて。万軍の【主】はこう言われる。「**テマン***には、もう知恵がないのか。賢い者から分別が消え失せ、彼らの知恵は朽ちたのか。

デダン*の住民よ、逃げよ。そこを離れよ。深く潜め。わたしが彼の上にエサウの災難を、彼を罰する時を、もたらすからだ。

*エドムの主要な町々

28

②エドム 略奪の末に 49:9～10

ぶどうを収穫する者がおまへのところに来るなら、彼らは取り残しの実を残さないだろう。盗人が夜中に来るなら、彼らの気がすむまで荒らすだろう。

しかし、わたしはエサウを裸にし、その隠れ場をあらわにし、身を隠すこともできないようにする。彼の子孫も兄弟も隣人も踏みにじられ、彼はいなくなる。

■ 徹底的に略奪、破壊されるエドム

29

②エドム 怒りの杯 49:11～12

おまえのみなしごたちを見捨てよ。わたしが彼らを生かし続ける。おまえのやもめたちは、わたしに抛り頼まなければならない。」

まことに【主】はこう言われる。「見よ。
その杯*を飲むように定められていない者でも、それを必ず飲まなければならないのなら、おまえだけが罰を免れられるだろうか。罰を受けずにはすまされない。おまえは必ず飲まなければならない。

**裁きの日のために
生かされ続ける**

*神の裁きの怒りの杯



ネゲブ

30

②エドム ボツラの没落 49:13

まことに、わたしは自分にかけて誓う——【主】のことば——。必ずボツラ*は恐怖のもと、そしりの的、廃墟、そしてののしりの的となる。そのすべての町は、永遠の廃墟となる*。」

*モアブの裁き(28章)にも。

➡本来はエドムの都

後にナバテア人がペトラを築く

*千年王国に廃墟が残る(イザヤ34章)



ネゲブ

31

②エドム 国々への使者 49:14～15

私は【主】から知らせを聞いた。「使者が国々に送られた*。『集まって、エドムに攻め入れ。戦いに向けて立ち上がれ。』

見よ。わたしがおまえを国々の中の小さい者、人に蔑まれる者としたからだ。

*バビロニアが支配地や属国から兵を招集

■大難難時代、ボツラにイスラエルが避難。

➡反キリストが招集した全世界の軍が
エドムの地も滅ぼされる



ネゲブ

32

②エドム 完全な廃墟に 49:16～17

岩の裂け目に住む者、丘の頂を占める者よ。おまえの脅かしと高慢は、おまえ自身を欺いている。驚のように巢を高くしても、わたしは、おまえをそこから引きずり降ろす。——【主】のことば。」

エドムは廃墟となり、そこを通り過ぎる者はみな呆気にとられ、そのすべての打ち傷を見て嘲笑する。

ソドムとゴモラとその近隣の町々が破滅したときのように——【主】は言われる——そこに人は住まず、そこに人の子は宿らない。

主の裁きの結果



死海沿岸

33

②エドム バビロニアの侵略 49:19

「見よ。獅子*がヨルダンの密林から常に潤う牧場に上って来るように、わたしは一瞬にして彼らをそこから追い出し、選ばれた人をそこに置く。だれがわたしのようであろうか。だれがわたしを呼びつけるだろうか。だれがわたしの前に立つことができる牧者であろうか。」

*バビロニアの象徴

■北のヨルダンの方から侵略が…。



34

②エドム 裁きの計画 49:20～21

それゆえ、聞け。エドムに対して立てられた【主】の計画を、テマンの住民に対して練られた策を。必ず、彼らは、群れの中の小さいものまで引きずって行かれ、必ず、彼らの牧場は彼らのことで恐れ惑う。

彼らの倒れる音で地は震え、その悲鳴は葦の海*でも聞こえる。

*イスラエルが渡ったエジプトの海

➡エジプトに逃げても助からない!!



35

②エドム 壊滅 49:22

見よ。彼は驚のように舞い上がっては襲いかかり、ボツラに敵対して翼を広げる。その日、エドムの勇士の心も、産みの苦しみにある女の心のようになる。

■徹底した侵略によってエドムは壊滅。

究極的な裁きは大難難時代に!!



36

まとめ ②エドムの滅びとその後

■イスラエル、ユダへの略奪を繰り返してきた
➡バビロニアによる徹底した略奪に!!

■弱体化、ナバテア人に追い出され、さらに南部に。

■ハスモン王朝に支配、ユダヤ教に強制改宗。同化。
➡イドマヤ人 ヘロデ大王を輩出

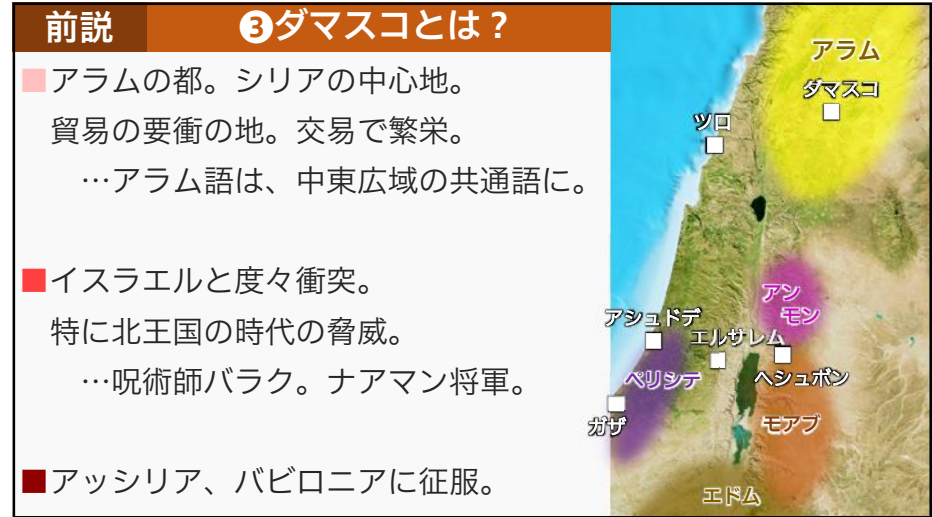
■主の日に裁きを受け。千年王国に廃墟が残る。

滅び

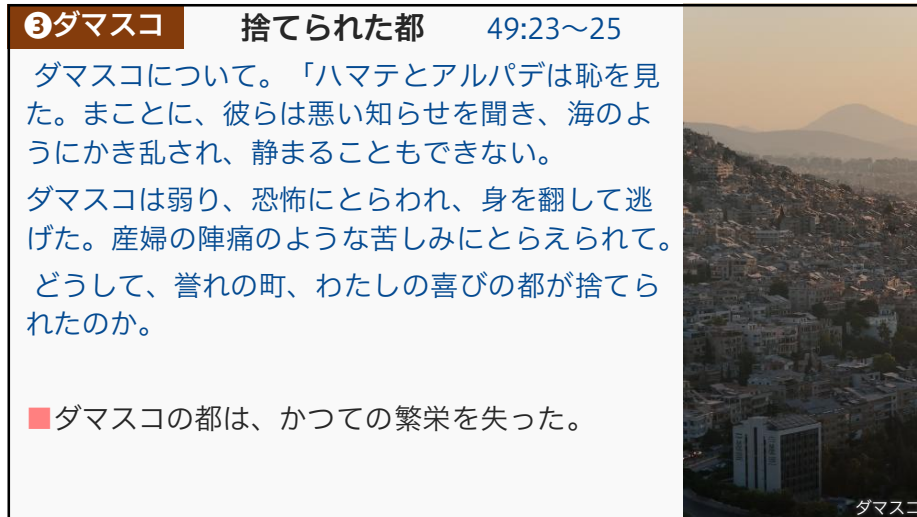
37



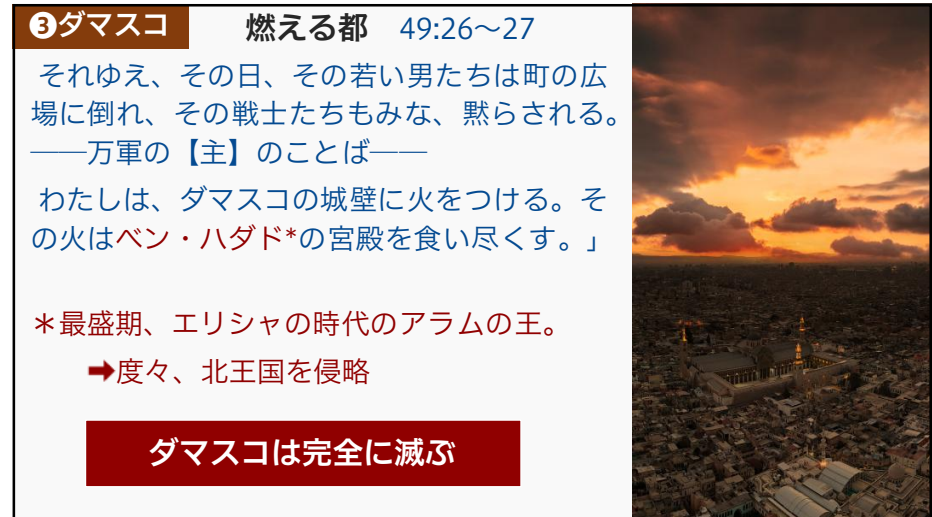
38



39



40



41

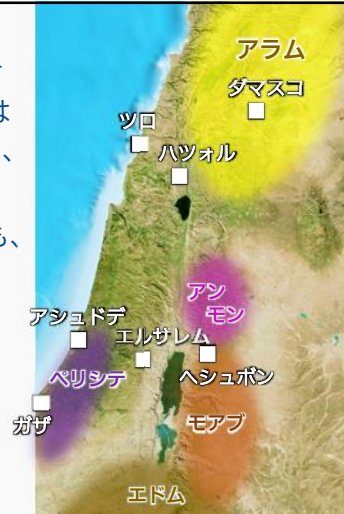
③ハツォル ハツォル 49:28～29

バビロンの王ネブカドネツアルが討ったケダルとハツォル*の王国について。【主】はこう言われる。「さあ、ケダルへ攻め上り、東の人々を荒らせ。

その天幕と羊の群れは奪われ、その幕屋も、すべての器も、らくだも、運び去られる。人々は彼らに向かって叫ぶ。『恐怖が取り囲んでいる』と。

*ガリラヤ北部の古代からの要塞都市

→一時、ソロモンが整備、統治



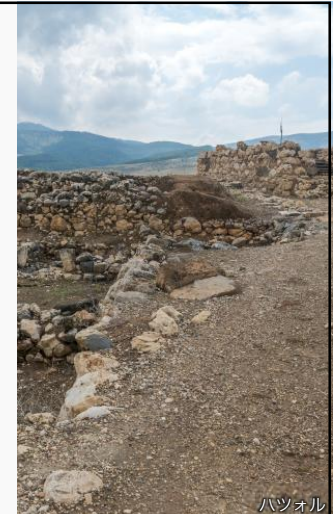
42

③ハツォル 迫る滅び 49:30～31

ハツォルの住民よ、逃げよ。遠くへ逃れよ。深く潜め——【主】のことば——。バビロンの王ネブカドネツアルが、おまえたちに対してはかりごとをめぐらし、おまえたちに対して計略をめぐらしているからだ。

さあ、安んじて住む穏やかな国に攻め上れ。——【主】のことば——そこには扉もなく、かんぬきもなく、その民は孤立して住んでいる。

■ハツォルにもバビロニアの侵略の手が!!



43

③ハツォル 滅亡と荒廃 9:32～33

彼らのらくだは獲物になり、その家畜の群れは分捕り物になる。わたしは、もみ上げを刈り上げている者たちを四方に吹き散らし、あらゆる方向から彼らに災難をもたらす。——【主】のことば——

ハツォルはとこしえまでも荒れ果てて、ジャッカルの住みかとなる。そこに人は住まず、そこに人の子は宿らない。」

ハツォルは完全に滅ぶ



44

まとめ ③北方の町々 ダマスコ ハツォル

■アラムの都として繁栄を誇り、北王国を苦しめたダマスコ。アッシリアの侵略の後、再び繁栄を誇っていた。

■ガリラヤ湖北部の要塞都市ハツォル。北王国滅亡後、ケダルの民が繁栄していた。
→本来はナフタリ族の嗣業の地

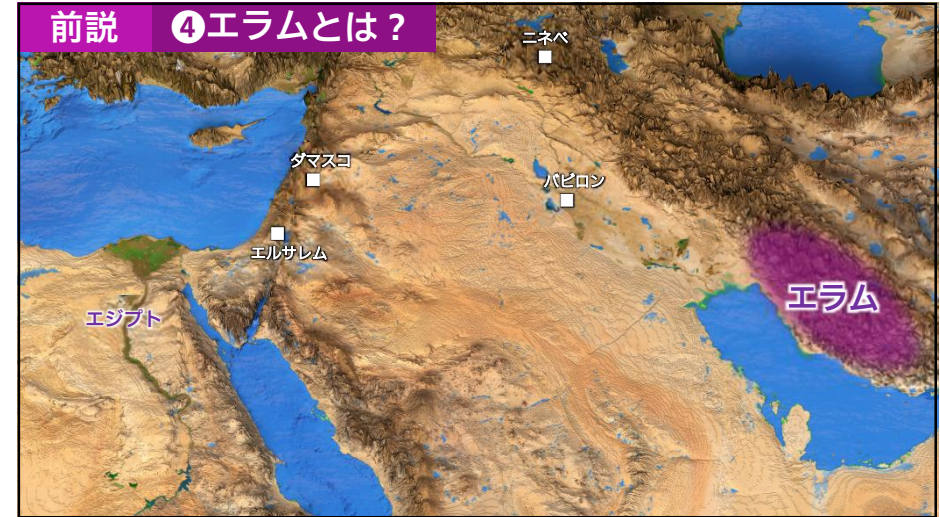
■イスラエルを苦しめた、ダマスコ、アッシリアも、バビロニアによって滅亡。

滅び

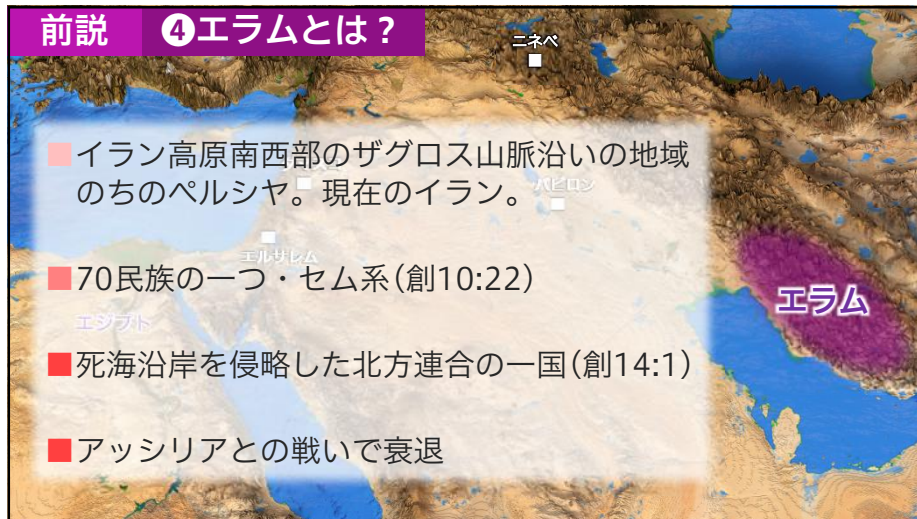
45



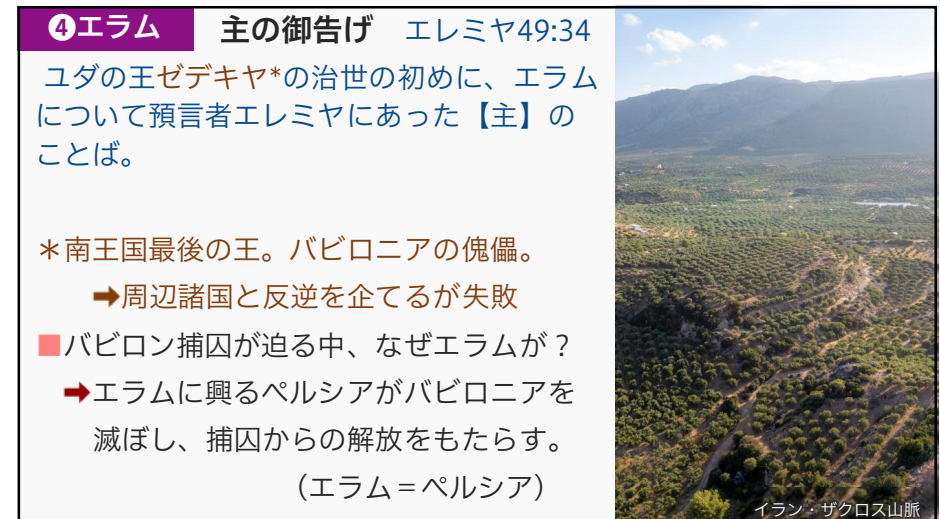
46



47



48

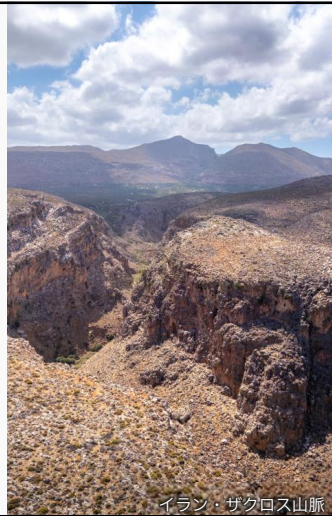


49

④エラム 四方の風 49:35～36

万軍の【主】はこう言われる。「見よ。わたしはエラムの力の源であるその弓を折る。わたしは天の四隅から、四方の風をエラムに吹きつけさせ、彼らをこの四方の風で吹き散らす。エラムの散らされた者が入らない国はない。

■エラム(のちのペルシア、今のイラン)は、世界中に離散していく。
例)イスラム共和国からの多くの亡命者



イラン・ザクロス山脈

50

④エラム 主の怒り 49:37

わたしは、エラムを敵の前に、そのいのちを狙う者たちの前にうろたえさせ、彼らの上にわざわいを、わたしの燃える怒りをその上に下す。——【主】のことば——わたしは、彼らのうしろに剣を送って、彼らを絶ち滅ぼす。

■エラムはペルシアに支配、消滅。
ペルシアは、ギリシャに支配。
→世の終わりには、主が滅ぼす



イラン・ザクロス山脈

51

④エラム 裁きと回復 49:38～39

わたしはエラムにわたしの王座を置き、王や首長たちをそこから滅ぼす。——【主】のことば——

しかし、終わりの日*になると、わたしはエラムを回復させる。——【主】のことば。」

*メシアによる神の国・千年王国

メシアによる裁きと回復が約束



イラン・ザクロス山脈

52

まとめ ④エラムの滅びとその後

- アッシリアにより衰退。ペルシアの支配で消滅。
ペルシアは、アレクサンダー大王のギリシャにより滅亡。
→サーサーン朝…、イスラム王朝…、現在のイランへ
- 離散したイスラエルの居住地の一つ(使2:9)
- 終末に、神の裁きを受ける。
メシアが建てられる神の国において回復される。回復

53



54

まとめ	滅びと救いに分けられた		
兄弟民族	①アンモン	千年王国で回復	回復
	②エドム	永遠に滅ぶ 千年王国にも廃墟が	滅び
異邦人	③ダマスコ ハツォル	永遠に滅ぶ	滅び
	④エラム	千年王国で回復	回復

55

まとめ	滅びと救いを分ける理由は？		
兄弟民族	①アンモン	信仰者口トの子孫	先祖の 信仰
	②エドム	不信仰者エサウの子孫	
異邦人	③ダマスコ ハツォル	イスラエルを苦しめた	祝福と 呪い
	④エラム	イスラエルを解放した (ペルシア)	

56

まとめ	滅びと救いを分けるもの
■ アンモンとエドムを分けたのは、 →先祖の信仰。それに伴う神の約束	
■ ダマスコ・ハツォルとエラムを分けたのは、 →イスラエルへの態度。土台はやはり神の約束 「わたしは、あなたを祝福する者を祝福し、あなたを呪う者をのろう。地のすべての部族は、あなたによって祝福される。 創世記12:3」	
滅びと救いを分けるのは、神の約束	

57

適用	イスラエルを覚えよう
■	異邦人の、ダマスコ、ハツォルと、エラム(ペルシア)、永遠の運命を分けたのは、イスラエルへの態度だった。
■	大難難時代に、生き残った民の永遠の運命を分けるのも、イスラエルへの態度(羊と山羊の裁き・マタイ25:32～33)。
■	イスラエルの救いを覚え、祈り、ささげることの祝福がある。 →私たちの実感は脇において。主の命令への従順が大事。 例) 結果としての祝福。鹿追教会の場合。

58

適用	個々人の滅びと救いを分けるもの
■	主が定められた、民族的な滅びと救い。
■	一方で、どの民族、どの時代にも、個々人の救いの道はある。
→	それぞれの時代の啓示に従い、 神の約束 を信頼すること 例) 主を信じたダマスコのナアマン將軍の癒やしと救い
今の時代、私たちの滅びと救いを分けるのは？	

59

★ 私たちの滅びと救いを分けるもの ★	
■	私の罪のため、死んで復活されたイエスを信頼するかどうか。
■	終わりの時代の地域教会の存亡も、福音信仰にかかっている。
■	偽教師、教えの風に惑わされることなく、福音に立ち続ける!!
■	イスラエルに、残された者・レムナントがいるように!!
終わりが近づく時代に、残れる信仰者であり続けよう!!	

60

てん	どう	わたし	つみ
「天のお父さま。私たちの罪をゆるしてください			
わたし	かみ	みこ	しゅ
私たちは、神の御子、主イエス・キリストが、			
わたし	つみ	あがな	じゅうじか
①私たちの罪を贖うために十字架で死なれ、			
はか	ほうむ		
②墓に葬られ、			
みっかめ	ふっかつ	しん	
③三日目に復活されたこと、を信じます。			
ふくいん	わたし	かた	た
この福音のみに、私たちは堅く立ち続けます。			
すく	おぼ	いの	
イスラエルの救いを覚え、祈り、ささげます。			
ちじょう	わたし	きょうかい	しんこう
地上にある私たちの教会を、信仰の共同体を支えてください。			
しゅ	こ	ひ	しゅ
主の来られる日まで、主の証人として遣わし、用いてください。			
しゅ	な	いの	
主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」			

61